



開聞岳・夕景「グリーンのドレス」 吉村 正治 画



宮崎県版

No. 315

治安維持法犠牲者

国家賠償要求同盟

宮崎県本部

〒880-0031

宮崎市船塚3-193

電話 0985(26)4224

FAX 0985(20)3154

郵便振替口座

02070-9-11382

私たちの運動の基本

ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために

一、 治安維持法の復活に反対すること

二、 国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であつたことを認めること

三、 国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと

中国の大国主義・人権侵害に思うこと ③

伊地知 孝

※私は、「史記」や「三国志」などで繰り広げられる物語で、中国の歴史の奥深さ、壮大さ、人々の知恵に感動し、多くのことを学びました。実に偉大な国だな、とつくづく思います。

何しろ4千年～5千年の歴史を持つ国です。その長い歴史の多くで、「世界の超大国」として君臨してきました。時々の中国の政権は、周辺国が貢物をするのは当然、といつた態度を取り、周辺諸国を自らの臣下とみなしてきました。長い間、アジアや世界の超大国であつたという過去の歴史から、大国主義が染みついています。時々反省はするが長続きしない、しばらくするとまたぞろ大国主義が頭をもたげるという状況が続いているのが、今の中国ではないでしょうか。諦めずに、「中国政府は人権を守れ」「民主主義を守れ」という世論で、中国政府を国際的に包囲していくことが求められているのだと思います。

政治にも表れている問題ではないでしょうか。その一つが辺野古の米軍基地建設強行です。沖縄の選挙で繰り返し示されている「辺野古の基地建設NO！」の民意を無視して基地建設を強行している問題。福島の原発汚染水の海洋放出に全漁連が断固反対、地元の同意も得られない中で強行を決定した問題。朝鮮人へのヘイトスピーチを基本的に野放しにしている問題。難民が入管の外国人収容施設に長期間収容され、虐待を受けている国際人権条約違反の問題・・・等々は、どちらも中国政府が強行している回答無用の人権無視のやり方と共通しています。中国政府の人権弾圧をやめさせるたたかいは、実は日本政府が行っている人権侵害をやめさせるたたかいでもあると思います。

※最後に、中国政府が民主主義、人権をないがしろにしている問題は、よく考えれば、日本の安倍・菅政権の政治にも表れている問題ではないでしょうか。その一つが辺野古の米軍基地建設強行です。沖縄の選挙で繰り返し示されている「辺野古の基地建設NO！」の民意を無視して基地建設を強行している問題。福島の原発汚染水の海洋放出に全漁連が断固反対、地元の同意も得られない中で強行を決定した問題。朝鮮人へのヘイトスピーチを基本的に野放しにしている問題。難民が入管の外国人収容施設に長期間収容され、虐待を受けている国際人権条約違反の問題・・・等々は、どちらも中国政府が強行している回答無用の人権無視のやり方と共通しています。中国政府の人権弾圧をやめさせるたたかいは、実は日本政府が行っている人権侵害をやめさせるたたかいでもあると思います。

(2021年4月11日記)

末期症状の政権を倒そう



今の日本の状況はいつ戦争に巻き込まれても不思議ではありません。治安維持法の亡靈はすでにさまよっているのではないでしょうか。そのためにも映画の成功がカギと思っています。

時だと思います。

昨年8月28日、安倍首相は突然辞任を表明した。7年8か月に及ぶ法を無視した傲岸不遜の戦前回帰の政治をやつてきた。その後を受けた菅首相は学術会員任命拒否にみられるように、治安維持法体質をもち、身内の利権を漁り、安倍同様の態度をとり、コロナ禍では政府の科学分科会の尾身茂会長の五輪中止提言にも耳を貸さず、小中高校生の五輪観戦を計画している。小中高校生の五輪観戦の是非をテレビで市民にインターネットしていくが、4年に一度だからいいのではとう声を集めていた。小中高校生20~70万人の観戦となると、その人流での感染リスクは計り知れないほど大きくなる。

死亡者も予測され、そのことを伏せて、めったにないことという声を集めて編集するマスコミもマスコミだと思う。万が一死者が出た時の責任はどうなるのか。今こそ党派を越えた中止の決断をしなければならない

「戦前の特別高等警察、略して特高は反体制運動を弾圧した。治安維持の名の下、捕らえられた人の扱いは熾烈を極めた。プロレタリア作家小林多喜二を拷問して死に至らしめたのは有名な話だ」お気付きの方もおられるかも知れませんが、「赤旗」の記事でもなく、先月22日付「朝日新聞」の「天声人語」の冒頭の部分です。来年、伊藤千代子さんの映画上映が決まつて以来、私は昭和初期に荒れ狂った治安維持法に関する文献を數十年ぶりに学び直しています。当時さらなる改悪をねらった政府に断固立ちはだかた労働農民党の山本宣治は昭和3年3月5日テロに刺殺されました。山本宣治の生前最後の質問となつたのが「拷問・不法監禁」（昭和4年2月8日・予算委員会）に關することでした。内容は全国にわたつて共産党員及び関係者に対する不当な弾圧を調査し、その一部を暴露したのです。

一例を記すと、『静秀雄という被告は、竹刀で繰り返し殴られて、自分はすでに悶絶した。ふと眼が覚めたら、枕もとの茶碗に線香が立ててあつた。すなわち、責め殺したと思った人間が、さすがに死んだ者の恨みが怖いか、冥福をとむらうために（略）』こういう風な実例は多くあります

まさに特高は虐殺集団だったのです。山本宣治が『暗殺の日』に議会で発言すべく用意した原稿は「治安維持法改悪反対、前衛虐殺法反対」だったのです。

まさに特高は虐殺集団だったのです。山本宣治が『暗殺の日』に議会で発言すべく用意した原稿は「治安維持法改悪反対、前衛虐殺法反対」だったのです。

中止のタイミングを逃し、開催を強行するかたくなな態度を崩していません。国民の多数の反対を一顧だにせず、菅首相は「感染状況がこうなれば五輪は中止する」という基準すら示すことを拒絶しています。開催ありきのIOCに同調して、自国民の命と健康を優先第一位にしない無責任な「人命軽視」の姿勢です。

これは今、鬪われている東京都議選での小池都議政も同じです。五輪開催に熱中の自民・公明・都民ファーストに圧倒勝利し、続く秋の衆議院選に勝利して、積年の宿願、治安維持法犠牲者国家賠償法成立への道を拓きました。

枕もとに線香が！

馬場園孝次

3歳の孫へ ばばちゃんの手作り布絵本 (P. 3)



さかな、カニ、花、ニンジン、ぜんぶ取り外せます。
(服やバッグのボタンの留め外しができるように)

新タイトルと主演女優が決まりました！

「わが青春つきるとも」 —伊藤千代子の生涯—

<新題名> 新人・井上百合子（伊藤千代子役）

井上百合子さんプロフィール

1995年 千葉県生まれ

2018年 武蔵野美術大学造形学部卒

2018年 円演劇研究所入所

2019年 (株) 円企画所属

《芸歴》

(舞台) 「見よ、飛行機の高く飛べるを」(円研究所卒業公演)

(テレビ) 「刑事7人」(1話・2019)

(映画) 「サチとサチコ」(自主製作映画・2020) 他

※出演者他、詳しくは折込みチラシをご覧ください

【桂監督からひとこと】

戦前昭和初年代に男性中心の社会、天皇絶対の専制支配の中でジェンダー平等に目覚め、初めて科学的社会主义の理論を身につけた女性活動家群が生まれました。伊藤千代子さんもその一人で、そのみずみずしい感性と献身的なたたかいは暗闇から一筋の光が射すような輝かしい生涯でした。24歳という短くもその鮮烈な生き方は、必ずや今を生きる若者たちを励まし、時代閉塞の今日を擊っていく力となりましょう。

私たちは、この伊藤千代子の社会変革のこころざしに強い共感を得て映画完成に向けて力を尽くしてまいります。伊藤千代子の不屈のたたかいを格調高く描く映画化の訴えは、多くの方々から歓迎され、あたたかいエールと製作資金作り運動が着実に広がり始めています。この広がりをさらに全国に波及させていくために、力を貸しくださるよう心から訴えます。映画は、いよいよ本年10月から撮影を開始し、2022年春から全国公開を目指します。

劇映画「わが青春つきるとも—伊藤千代子の生涯」総監督：桂壮三郎